

「GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の
円滑な利活用に関する調査協力者会議」
ヒアリング資料

養護教諭の視点から

全国養護教諭連絡協議会

- **ICTを活用した保健管理の実践と今後の展望**
- **ICTを活用した保健教育の実践と今後の展望**
- **1人1台端末の利活用に伴う課題等**

ICTを活用した保健管理

- 健康観察及び結果の集計
- 欠席連絡の集約
- 部活動時の心身のコンディショニング管理、データ化
- 校内研修（アレルギーの職員研修）
- 健康診断の事前指導（教室で動画を視聴してから健診を受ける）
- 要観察児童の個別指導及び健康相談

今後の展望 「保健管理」

- 健康観察の充実（データの集約、保存、分析）
- 健康診断データの個人管理
- **個人記録**としての活用（健康診断結果の把握・事後指導・個別指導）
- **保健記録**としての活用（保健管理に関する記録が一元化される
→救急処置時に既往歴、来室記録等が随時に把握できる）
- メンタルの支援に活用（**オンライン健康相談**）

個人情報管理の徹底が重要

ICTを活用した保健教育①

- 保健の学習で活用（プレゼンテーション）
- 健康診断（健康安全・体育的行事）の事前指導で活用（動画）
- 学級活動での保健の指導実施時に活用
 - * クラス内の意見確認に活用
 - * 回答の軌跡を知る（見る）→考えの深まりが確認できる。
- 生徒委員会活動に活用
- 睡眠教育アプリの活用（年2回睡眠表記入に活用）

歯科保健指導実践例



今後の展望 「保健教育」

- 保健教育に活用
- 歯科保健指導を端末で実施
- 生活実態調査等をタブレットを使用して回答
- ほけんだよりの配信
- 学校医や学校歯科医等の専門家の指導を配信
- 学校保健委員会をビデオ会議サービスを活用して開催

端末の持ち帰りによる荷物の重さ等について

- 生徒のかばんの重さは約10kgあるので、端末により参考書等の量が減るのであればありがたい。（高等学校）
- 持ち帰る物を極力減らし、端末の持ち帰りによる負担を減らしている。（小学校）
- 端末持ち帰りを試行中。（荷物の重さはタブレット導入以前から問題になっているため）

1人1台端末の利活用に伴う課題等①

- スクリーンタイムの増加による視力低下
- 脳（前頭前野）への影響
- ネット依存の心配
- 長時間の使用により、視力、姿勢、ドライアイ、睡眠不足等
- 運動不足による健康被害
- メンタル面の影響（人間関係、コミュニケーション力）

1人1台端末の利活用に伴う課題等②

- 端末の使用についての**ルールの確認と家族の協力**（家庭の教育力の差）
- 本来の目的と異なる使用により発生する課題への対応と情報モラルの充実
- 養護教諭のICT環境の整備及び活用指導力の向上